

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぽけっと戸田公園教室
公表日	2026年 2月 20日
利用児童数	38名
回収数	28枚

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	2			個室もある。	個室だけでなく、大部屋を使つての小集団活動も行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28				問題なし。	十分な人数を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	4		2	わからない。	構造上、入口に段差がありご迷惑をお掛けしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28				特に問題なし。	これからも安全で清潔な空間が保てるよう努力していきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28				子供に合わせてプログラムを考えて下さって、教材も子供の好きな物など工夫が素晴らしい。／問題ないと思う。	難しいことでも楽しみながらできて、いつのまにかできるようになっていたというのが望ましいと考えています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28				プログラム通りだと思う。	子どもたちもルーティンになっているプログラムをよく理解してくれています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28				困り事にすぐ対応して下さったり、相談にものって下さっている。／細かいと思う。	今後も保護者のニーズをしっかり受け取り、計画に反映していきたいと思います。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	2			子供に合わせて内容や計画が見直し更新され、常に子供と向き合ってもらえている。／細かいと思う。	支援内容でもしわからないことがあれば遠慮なくお尋ねください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28				計画について面談でしっかり説明をうけ納得できている。／問題なし。	引き続き個別支援計画に基づいた支援を行ってまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2			常に工夫と努力を感じられます。／様々な方向からの活動を考えて下さっている。／毎回違うから。	飽きが来ないように常に新しいことを考え、またうまくいかなかった時には方法を変えてアプローチするように努めています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	10	8	特に交流等は希望もしていません。／特に必要性を感じないので機会がなくても問題ありません。／ないと思う。	教室の特性上、なかなか交流の機会はないかと思っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28				細かくあった。	今後も懇切丁寧な対応を心掛けます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28				先生方と常に共有できています。／細かくあった。	保護者がわかりやすいようにこれからも丁寧な説明を心掛けていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	5	4	5	ペアトレは望んでいない。できないから通っている。／家族間で情報共有したいので、そのような場があったらいいなと思います。／おそらくないと思う。	家族支援という形で療育相談は承っていますが、親子参加でのプログラムはまだ未実施です。今後検討していきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	1			よく子供を理解し常に情報共有できている。関わりの少ない先生も子供の事を理解している。／伝わっていると思う。	保護者とはフィードバック時に詳しく情報共有させてもらい、職員間でも終礼などで共有させてもらっています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27			1	半年に一回はある。	個別支援計画更新の際の面談はもちろんですが、それ以外でもお申込みいただければいつでも面談の機会を設けさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28				子供自身も共感してもらっている事を理解し安心している。／何を相談しても絶対に否定しないで下さる。／子どもにあわせている。	これからも利用者と利用保護者の立場に立った支援を心掛けていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	11	7	特にその様な機会は希望していません。／療育の保護者さんと繋がる機会があると嬉しい。／保護者同士の交流ができればありがたいですが、現状で満足しています。／ないと思う。	保護者同士の交流会などは、毎年検討を重ねているものの実現に至っていません。引き続き検討してまいります。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1		1	すぐに対応してもらえる環境が整っている。／問題なし。	必要な際に気軽に申し込むことができるような体制を引き続き周知していきたいと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28				色々な方法で伝えられる。／問題なし。	フィードバック時での伝達はもちろんのこと、公式LINEや連絡帳、直接お電話をいただいても構いません。何かあればご遠慮なくお知らせください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	4	2	6	特にない。	不定期ですが「てらほけだより」というお便りを発行させていただいております。また、教室専用のものではありませんが、てらびあぼけっとのHPの方で自己評価の結果などを公表しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	2			問題なし。	引き続き個人情報を守られるよう配慮してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2	2	5	ないと思う。	すべてのマニュアルが策定されており、定期的な研修を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1	2	8	ないと思う。	一年に2回、利用者も交えた避難訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1		5	わからない。	安全計画はもちろんのこと、常に安心できる場を提供できるように配慮しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2		5	わからない。	小さな擦り傷や例え傷がなかったとしても必ず保護者に伝えるようにしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27			1	子供はとても安心して通って先生方も大好きです。／今日は誰先生かなと楽しみにしている。／わからない。	子どもにとっても保護者にとっても安心安全と思えるような場をこれからも提供していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	1			最近はまだあまり行きたがらない。	子どもが楽しく通所できることが大前提なので、行き渋りなどがないようこれからも努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1			いつも優しく子供の事を理解してくれて大満足です。いつも助けられています。／大満足です。子供だけではなく親にも寄り添って頂けます。／親子共に支えていただいています。／成長していると思う。	いつも事業所の運営にご協力いただきありがとうございます。これからも期待に応えられるよう誠心誠意頑張つてまいります。

事業所における自己評価結果

公表							
事業所名		てらびあぽけっと戸田公園教室					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7	0	条例で定められている設備基準を遵守している。	指導訓練室に死角があるため、事故のないように細心の注意を払う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7	0	定められている配置基準を守っている。	基準よりも多く配置するようにする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	0	玄関の段差はゲージを置くことで危険のないようにしている。室内はトイレを含めバリアフリーである。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7	0	清潔であり心地よく過ごせている。上司を含め全員でそうじをする事がとてもステキだと思う。定期的に玩具やドアノブ等消毒をしている。換気と加湿に十分注意している。	建物の構造上、なかなか湿度が上がらない。複数台の加湿器を使用し、できるだけ上げるようにしていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7	0	個室は常設してある。足りない場合はパーティション等を利用して個室を増設している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		7	0	ミーティング内で適宜実施している。カンファレンスも月一度行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7	0	評価集計結果を周知し、保護者の要望に対してどうしていくか検討した。	保護者が気軽に質問や相談が出来るような雰囲気作りをしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7	0	ミーティングやカンファレンスなどで適宜実施している。	ミーティング時、不在の職員にもしっかりと共有出来るようにする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	3	行っていない。	第三者評価制度の利用はないが、定期的に自己及び本部の内部監査を通じてチェック及び向上を図っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		7	0	県で定められている研修を行っている。本部主催の研修やセミナーに参加している。	本部主催のセミナーなど、職員の出席を積極的に促していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		7	0	入所時、更新時に支援計画書を作成している。フィードバックや家族支援(相談支援)を通してリアルタイムなお困りごとを共有し、支援計画に反映させている。	引き続き利用者の特性を理解し、保護者と相談しながらきめ細かい支援計画を立てていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7	0	児童発達管理責任者と指導員とでモニタリングを行っている。	モニタリング時期以外でも気づいた事があれば都度共有を行う。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		7	0	保護者の同意後、終礼で共有している。今の支援計画がとてもわかりやすく支援しやすい。丁寧に書かれていて子どもの様子がわかりやすい。プログラムがたてやすくなった。	漏れないように丁寧に説明し職員に理解してもらう。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		7	0	各利用者の発達状況と保護者の要望に沿った支援計画を立案している。	5領域を取り入れた分かりやすい支援計画を立てていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6	1	児童発達支援管理責任者、他の指導員に相談等を行っている。小集団の活動は事前に職員で話し合って決めている。ソーシャルスキルトレーニングなど声を掛け合い行っている。	個別での支援の為、基本的には担当の職員がプログラムを考えているが誰が担当しても分かるように要望シートを作成し記録に残している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		7	0	担当を固定化せず、複数の職員が介入している。リアルタイムなお困りごとに対しても柔軟に対応している。リズムウォークやはじまりの会、工夫している先生が多い。	リアルタイムなお困り事など、どんな小さなことでもお手伝いできるということを積極的に周知していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		7	0	各利用者のお困りごとに対応する形で計画を立てている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		7	0	終礼時や朝の教材準備の際に支援内容について情報交換をしている。前回の子どもの様子などを聞くと用意で忙しいなかでも丁寧に教えてくれる。	基本的に終礼時の際に翌日のプログラムの打ち合わせを行っている。今後も職員間での確認を行う。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	毎日必ずミーティング内で情報共有している。	終礼の際に毎日必ずその日の振り返りを行い、職員全員で情報共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	記録票を活用。プログラム内容等、日々詳細を記録している。	プログラムの内容を細かく記録し、誰が担当になっても今何をやってどんなことが必要なのかわかるようにしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	利用者の特記事項や変化など職員間で必ず共有している。記録で伝えられない事は口頭で伝えてくれる先生が多くとても助かっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	今年度は会議自体がなかった。	要望があれば積極的に参加する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	該当利用者なし。	要望があれば連携し支援を行う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	電話での共有、また園の先生が見学に来た際に共有を行っている。	利用者、園からの要望があれば対応している。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保護者からの希望により利用者の様子や活動内容を記した書類を作成し情報共有を行っている。	要望に応じて就学の際に必要な就学支援シートを作成し小学校と情報共有しているが今後は更に積極的に行っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	センター主催のこども連絡会に参加している。	欠席なく毎年参加したい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	実施していない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	フィードバック、家族支援等を利用し、丁寧な情報共有を行っている。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	利用保護者の希望によりホームセラピーを実施している。自宅でやってほしいことなどの情報提供をしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に必ず行っている。	分かりやすい説明を心掛ける。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		支援計画書についてより丁寧な説明をし保護者の意見を反映していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	面談の機会を設けて説明を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	フィードバック、電話、LINE、家族支援にてその都度対応している。面談や家族支援、職員のみながとても親身になって行っている。	誰でも気軽に家族支援（相談支援）を利用できるように積極的に周知していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	教室の運営形態上、開催は難しい。	日曜日の開催など、実現に向けて検討を重ねていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談があった時、すぐはやく対応している。	いつでも気軽に相談出来るように保護者に周知し相談しやすい環境を作っていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	てらばけだよりを発行している。	教室独自のHPがない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		個人情報に対する意識を高めて取り扱っていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	誤解を与えたりすることがないように発言には細心の注意を払っている。	常に言葉に気を付け、利用者・保護者の立場に立って配慮をしていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	行事を実施していない。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルを策定し定期的に訓練を行っている。	マニュアルは揃っているが保護者に周知出来るように努めていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPを策定している。定められた訓練を行っている。	訓練を通して各々が役割を把握しておく。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	個人ファイルにて確認。来所時に連絡帳の服薬欄を確認している。	既往歴の確認は事前に行っている。漏れないように職員間で声掛けを行っていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食事提供はないがアレルギーの有無については確認をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	定期的に研修、訓練を行っている。怪我がないように細心の注意を払うとともに、利用者の様子をこまめに観察し、心身の異常に素早く気付けるように心がけている。	引き続き研修、訓練を行う。怪我だけでなく、利用者・職員共に感染症ゼロを目指す。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	説明を行っている。	安全計画等に変更があった場合は都度、周知出来るようにする。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット案件が起きた場合は記録、共有するようにしている。	事故が起きないようにしっかりと職員間で声掛けを行っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定められている回数の研修を行っている。小さなキズでも職員で共有し保護者にも伝えていく。	引き続き研修を行い、職員の意識を高めていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	該当者がいないので、支援計画に記載した例がない。	

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名

てらびあぼけっと戸田公園教室

○保護者評価実施期間

2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日

○保護者評価有効回答数

(対象者数)

38

(回答者数)

28

○従業者評価実施期間

2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 30日

○従業者評価有効回答数

(対象者数)

7

(回答者数)

7

○事業者向け自己評価表作成日

2025年 12月 3日

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の立場に立った支援を心掛けている	利用者だけでなく、利用保護者の立場にも立って、家族支援（相談支援）などの機会を積極的に設けている。	誰でも気軽に家族支援を利用できるように積極的に周知していきたい。
2	一人ひとり利用者に合わせた支援を行っている	個別支援計画以外のリアルタイムなお困り事に対してもきめ細かく対応している。	リアルタイムなお困り事など、どんな小さなことでもお手伝いができるということを積極的に周知していきたい。
3	安心・安全な場所を提供している	怪我がないよう細心の注意を払うことはもちろんのこと、利用者の様子をこまめに観察し、心身の異常に素早く気付けるよう心掛けている。	利用者・職員共に感染症ゼロを目指し、消毒と加湿を徹底していく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用保護者の交流の機会がない	保護者会など、保護者の交流の場があればよいが、教室の運営形態上、難しいところがある。	日曜日の開催など、実現に向けて検討を重ねていく。
2	教室独自のHPやSNSがない	本部のHPはあるが、教室独自のものが無い。全体的にアナログな部分が多い。	SNSはデメリットも多いが、デジタル化することによって利用者がプラスになることは積極的に導入していきたい。
3			